

\* 2025年度に履修登録されたEK59（超高齢社会の展望と生き方）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目 講義科目

授業科目名	超高齢社会の展望と生き方 (健康生きがいがづくりアドバイザー)		科目コード	配当年次	単位
担当教員	木村 栄宏		EJ95	—	2
<b>科目の概要</b>					
<p>本科目は、超高齢社会かつ人生100年時代を迎えた現在、新しい高齢社会をどのように生きるか、いかに健康づくりを行い、ライフプランを立て、いかに生きがいを持って生き生きと生きていくか、その基本的な知識と今後の生き方の示唆が示されている。急速に進む高齢社会の実態と今後の方向について学び、新しい高齢者像を理解する。更に生きがいの定義・概念、健康と生きがいの関係や、地域社会とのつながりの大切さなどについて深く掘り下げながら理解を深める。</p>					
<b>科目の到達目標</b>					
<p>①高齢社会の急速な進展を理解し、新しい高齢社会における新しい高齢者像を理解し認識できる。 ②生きがいとは何かについて判断でき、自身の生きがい観、人間関係と生きがいなどについて考察できる。</p>					
テキスト	『超高齢社会の展望と人生100年時代の生き方』辻 哲夫(監), 健康・生きがい開発財団, 2019年				
<b>テキストの読み方</b>					
<p>①テキストは、「健康生きがいがづくりアドバイザー」資格取得のテキストでもあり、人生100年時代を迎え、世界の最前線を歩む超高齢社会の日本で、私たちがいかに健康づくりと生きがいを持って生き生き生きていくか、さまざまな基本的な用語や知識、考え方などが最新のデータによって習得できるようになっている。</p> <p>②健康・生きがい開発財団の提唱する「一人称」「二人称」「三人称」という、人間関係から見た生きがい論は、自分の生活にあてはめつつ読んでいただきたい。そうした学習により、一層の理解と今後の行動につながる。</p>					
<b>単位修得の方法</b>					
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>					